

# 愛知県江南市農業委員会（新規就農者に対する就農後サポート）【令和4年度】

農業委員会の体制】（令和2年7月20日任期開始 新制度移行後2期目）  
農業委員10名、農地利用最適化推進委員7名、事務局職員5名

## 1 地区の特徴・状況、課題

- 江南市は尾張北部に位置し、耕地面積587haのうち畑地が510haを占め、農業従事者の高齢化が進展し、遊休農地の増大が懸念されている。
- 近年、市内の有機栽培農家で就農研修を受け、農産物直売を志向する新規就農（参入）者が現れてきている。しかし、栽培技術の習得や生産物の販路に課題が生じている。

## 2 課題解決に向けた活動（取組と工夫）

- 直売志向の新規就農者の「仲間づくり」と「生産物の販売促進」のため、市役所の敷地内（1階ロビー）で「農産物直売」を企画。関係各課との連絡調整、SNS等でのPR、新規就農者等への参加呼びかけを行い、令和3年12月より開催している。
- 市役所での農産物直売の定期開催に向けて庁舎管理者（総務課）との調整を図った。



## 3 活動の成果

- 市役所敷地内での農産物直売は、①新規就農者等の仲間づくり、②市民との交流促進、③市内関連業者とのマッチング機会として好評が得られ、定期開催がされるようになった。
- 新規就農者に対して、仲間づくり、栽培技術の情報交換、販路開拓の場となり、就農後の経営支援となっている。